

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

7 2025
月号

vol.708

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



第63回定時総会

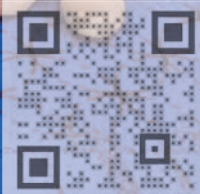
記念講演ダイジェスト
2024年度 活動総括
2025年度 運動方針

特集

福岡県中小企業家同友会



広報情報部
Facebook



【デザインQR】



テーマ

圧倒的な成長を支える 強靱な組織づくり

～同友会運動と企業経営は不離一体～

報告者
株式会社スパーク代表取締役
橋本昌子氏
(石川同友会特別理事)

日時: 2025年5月12日(月) 16:00~17:50
場所: ホテルニューオータニ博多 文/菅原 弘(広報部)

人脈が構築されました。それが自社に役立ち、売上げにつながっていると思います。

中長期計画を策定し『将来の見える化』に努めました。数値化をしています(例:売上を10億から30億など)。2013年には住宅型有料老人ホームを開設しました。

2021年石川同友会初の女性の代表理事になりました。そこでコロナ禍、そして能登半島地震に遭います。どんな状況でもチャンスはあると信じて、オンラインの活用、会員企業の発展に努めました。それらの根底には『人を生かす経営』があります。仲間づくりの活動では産官学金の連携を重視しました。

自社においては『社員が成長できる会社』を目指し、社員教育、紙媒体の社内報、人事評価、理念の浸透を図りました。「会社は何もしてくれない」ではなく「会社に何の貢献ができるか」を考えてもらうように意識改革していきました。

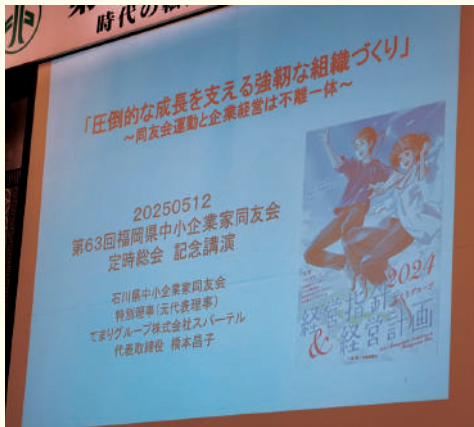
情報収集は『中小企業家しんぶん』をよく読むことです。情報発信は社員が自社の『広報』を担当してくれていると常々考えています。バリュー(理念の共有)と専門技術は会社の2本柱であり、どちらも



大切です。そして経営指針書は必ず必要です。思いは描くことで実現します。社員一人ひとりが知っていると言ってもレベルが違うので指標を作りました。

危機感を持つことは大事で、乗り越えるには鳥の目(俯瞰する力)、虫の目(足元を覗く力)、魚の目(時流を読む力)が必要です。

同友会では役職を受けましょう。リーダーとしての考え方が修得できます。言動が変わり、行動が変わります。みなさん、ともに行動していきましょう。



(株)スパークは2007年に設立、石川県を拠点に薬局事業と看護事業で34事業所を展開し、現在従業員は350名、売上28億円になります。

設立前に乳がんを発症しました。幸い手術は成功し「人生は一度きり、悔いのない人生にしよう」と「覚悟」を決めました。自分が倒れ、お店がなくなってしまうといけないと思い、初めから多店舗展開を図りました。

3年で10店舗従業員は20名になり、急拡大の弊害ができました。そこで組織化を図り、厳しいけれど尊敬される経営者をめざしました。

2011年に同友会に入会しました。お声をかけられたら「私でよければ」と断らずに役職をお受けするのが私のモットーです。素晴らしい経営者と出会い、様々な方面に

今月の表紙



写真左より
(株)システム企画 倉本 明彦氏(南支部)
(株)タケノ 竹野 孔氏(東支部)
(税)小田・小島総合会計 小島 隆志氏(福友愛支部)
あおぞら法律事務所 中村 伸子氏(博多支部)

撮影後記

今回は入会30年を迎えられたみなさまです。みなさまが入会された1995年(平成7年)は、Microsoft Windows95が発売された年。この年の新語・流行語には「インターネット」が入賞し、業務用だけでなく、一般家庭にも急速な普及をみせました。いまとなつてはインターネットが無い生活は考えられません。

永きに亘り、企業経営と同友会運動と共に進めてこられたことに敬意を表します。とても誇らしい表情で表紙を飾っていただきました。更なるご活躍を祈念いたします。

撮影/石野 泰隆 文/長尾 裕美

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

変化を捉え、

新たな飛躍へ！



私たち中小企業を取り巻く環境は、「中小企業をとりまく情勢の特徴2024」として報告された通り厳しい状況にあります。

どの地域にも多くの中小企業があり、雇用と日々の暮らしを担って地域の経済を支えています。経営者と社員が一体となって事業を行うことで地域を維持し、そこに住む人々が働いて子どもを育てることで地域は存続発展してきました。今、多くの地域がこれからも存続していけるかどうか危ぶまれています。

す。中小企業には地域の問題を自社の課題として捉え、地域から必要とされる会社になることが求められています。

「経営者である以上、いかに環境が厳しくとも時代の変化に対応して経営を維持発展させる必要がある」と労使見解で経営者の責任を述べています。国際情勢の不安定化やデジタル化の進行さらには国内の災害など情勢の変化が激しい中、これまで以上に自社の事業見直しが必要となります。同友会は、日々挑戦し続ける経営者の集まりです。私たちは、お互いに切磋琢磨しながら学び実践することで、赤字会社は黒字会社へ、黒字会社は強い会社へ、強い会社はなくてはならない会社へと飛躍を続けなければなりません。私たちは、2024年度も「2030ビジョン」の達成に向けて以下の方針に基づき、福岡同友会として全県一丸となって運動を進めていきます。

今期は、1.福岡同友会の「全体構想」、2.経営者フォーラム、3.経営指針書の成文化の把握、4.経営実態調査のリニューアル、の4つの取組を重点的に進めてきました。

「全体構想」については、理事会の中でも多くの時間を費やし、議論を進めてきましたが、何のための同友会か？なぜ「全体構想」を進めているかの意図・目的を伝えることが不十分でしたので、来期も時間をかけて協議を重ね、「全体構想」を進めていきます。

経営者フォーラムは、600名の参加目標に対し466名の参加でしたが基調講演及び分科会ともに会員から高い評価をいただき、経営課題解決への大きな学びの場となりました。基調講演報告者の愛知同友会、宇佐見氏からは、「福岡同友会のフォーラムは、血の通ったフォーラム、温かいフォー

重点方針

- 1 労使見解に基づいた、経営指針の作成・見直しと実践を（2030ビジョン企業づくり1-1 1-2）
- 2 いかなる環境においても、「真の黒字経営」を（2030ビジョン企業づくり1-3 1-4）
- 3 地域を支える中小企業が、地域のインフラとなりえる活動を（2030ビジョン地域づくり2-1 2-2）
- 4 仲間を増やし、強い組織づくりを（2030ビジョン同友会づくり3-3 3-4 3-5 3-6）

ラムだった。愛知でもこんなフォーラムをつくりたかったが叶えることができなかった。」と、有難いお言葉も頂きました。

経営指針書の成文化の把握、経営実態調査のリニューアルについては、企業づくり、地域づくりの項目で総括します。

課題はまだまだ沢山あります。今期のスローガンである「変化を捉え、新たな飛躍へ！」、重点方針の4項目を再確認しなければなりません。会員企業にとっての新たな飛躍とは何か、具体的に何に取り組むか、そしてなにより実践することが重要です。そのためには、会員が「2030ビジョン」達成に向けて全県行事や委員会活動、地区行事や支部例会などに積極的に参加したくなるようなテーマづくり、企画づくりができる同友会になることが求められます。

企業づくり

1. 経営指針書の成文化と実践を

- (1) 支部委員会・地区会で目標をかげ、労使見解に基づく経営指針書の成文化を推進します。全県で成文化率60%をめざします。
- (2) 経営指針の全社的な実践を推進します。その第一歩は社員を巻き込みPDCAを回すことです。またその実践状況を支部・委員会・地区会で交流し全県で実践率35%をめざします。
- (3) 企業変革支援プログラムの活用を広げ、人を生かす経営の進捗状況を確認し企業変革を推進します。

成果

- ◎ 全県での経営指針成文化率が目標60%に対して実績53%となりました。全県での経営指針実践率が目標35%に対して実績34%となりました。
- ◎ 成文化率と実践率の声掛け率が全ての支部で30%を超え、県全体で42%となりました。
- ◎ 九州沖縄ブロックの役員研修会で企業変革支援プログラムをテーマにした研修を行い、福岡同友会から31名の役員及び役員候補が参加し学びました。

課題

- ◎ 成文化率と実践率において、まずは県全体の声掛け率を50%にすることが課題です。
- ◎ 今年の結果をもとに、来期以降も成文化率と実践率を上げる取組が必要です。
- ◎ 現在の企業変革支援プログラムの登録者は、会員数の13.3%（30名）です。会員数の10%（約250名）をめざ

すためにも、まずは理事が自ら学び登録することが必要です。

2. 「真の黒字経営」への実践を

- (1) 赤字会社は黒字会社へ。赤字の原因を捉え営業戦略や損益計画等を見直し、継続して利益を出せる会社に変革します。委員会を積極的に活用し、例会・ブロック会で学びあいます。
- (2) 黒字会社は強い会社へ。社員共育やDX化等を進め、全社一丸で収益力を向上させます。人や新商品開発などに投資をしながら黒字を出し続けられる強い会社をめざします。
- (3) 物価高が進み社員達の生活を圧迫しています。自社の実力や計画の達成状況を見極めつつ、ベースアップなど社員の所得向上に取り組めます。

成果

- ◎ 支部内での経営談義や、支部内で課題を見つけ委員会で解決するという流れを、理事会で複数回共有しました。また、「1.経営指針書の成文化と実践を」と合わせて推進しました。
- ◎ 賃上げの特別調査の結果、回答数の33.2%が月次での賃上げを行い、その内、賃上げを2〜3%実施したのは44.7%、賃上げを5%以上の実施したのは20.5%でした。

課題

- ◎ 支部内で会員同士の本音の経営談義をする風土を、もっと広げる必要があります。
- ◎ 委員会への参加や活用を促進します。定期的なベースアップと定期昇給ができるよう、今後も経営体質の改善が必要です。
- 3. 広い視野で新たな仕事づくりを

地域づくり

1. 中小企業憲章の精神を広める運動を
- (1) 中小企業憲章・条例推進月間の取り組みを企画し他団体に呼びかけを実施します。
- (2) 行政・金融機関・教育機関などに広く呼びかけ憲章の精神を広める運動を推進します。

成果

- ◎ 関連する委員会や支部例会で、本件を扱ったテーマが複数実施されました。
- ◎ 特にBCPやSDGs関連は、支部や地区及び委員会などで多くの例会が開催されました。
- ◎ 会員のIT化導入やweb環境の改善により、例会や研修会の参加機会が拡大しています。

課題

- ◎ 収益力強化や効率化の取り組みの遅れている会員のための、経針書の見直しや商品開発の支援が必要です。
- ◎ 金融環境の変化に向けた取り組みを全県で共有して行く事が求められています。

成果

- ◎ 中小企業魅力発信月間勉強会を7月に開催し、合計89名が参加しました。内容に関しても1部2部構成で高校生の参加もあり、中小企業の魅力発信できたと同時に、今後のインタビュースhip取組の強化に繋がりました。

課題

- ◎ まだまだ多くの会員に憲章の意義や会外に対しての中小企業の魅力など伝えられていません。どう発信していくかが課題となります。
- 2. 中小企業振興基本条例の制定と活用で、具体的な成果事例を全県に
- (1) 中小企業振興基本条例の制定と活用を推進して元気な地域づくりの運動を進めます。

(2) 中小企業振興基本条例が制定されている地域は活用した取り組みを進め、具体的な成果を目指します。

(3) 中小企業振興基本条例が制定されていない地域については「調査・条例・振興会議」一体の取り組みなど先進事例に学び、制定に向けて積極的に取り組みます。

成果

◎ 田川市の中小企業振興基本条例の取組が2月に愛媛である全国研究集会の分科会に取り上げられました。

課題

◎ ここも多くの会員に中小企業振興基本条例の意義を伝えられてなく、先ずは本部内で県内の自治体61箇所のうち制定地である14箇所、飯塚市・直方市・糸島市など条例取組の事例を知ることと宮若市の見直しや制定されていない那珂川市などと条例制定を進めていくことが必要です。



同友会づくり

1. 楽しく学べる増える組織 2024年度 目標2,500名

- (1) 新会員フォローアップセミナーを開催し、同友会運動への積極的な参加を促します。
- (2) 経営者基礎講座を開催し、創業・継承間もない経営者・後継者をサポートします。
- (3) 地区会や支部と連携し、知る会を開催し、入会促進を進めます。
- (4) 支部で課題を発見し、支部から各委員会への参加を増やします。入会したら学んで実践できる学びの体系をつくります。
- (5) 支部活動やブロック活動で経営について語り合い、会員がお互いに経営課題を知り合う場をつくります。
- (6) 企業づくりの実践事例や会活動の情報を外部に定期発信するなど、戦略的広報活動を行い、会外に向けて、より重点的な取り組みを行います。
- (7) F.doyuの活用を進め会員同士の情報発信・収集を強化します。

成果

◎ フォローアップセミナー受講者が同友会会議室に入りきれない位増えました。受付や司会など様々な支部が関わってくれるようになりました。また次年度以降は支部長に歴史と理念の報告をして貰う事により、より積極的な参加を促す体制が出来ました。2403名(3月末)となり、期首からプラス47名となりました。

◎ 経営者基礎講座を開催して15名の参加があり経営の基礎を学びました。

課題

◎ フォローアップの報告者を支部長へ依頼する為のフォーマット作りをす

福岡県内 中小企業振興(基本)条例の制定状況

地 区	自 治 体		条例制定自治体	対自治体比(%)
	数	内 訳		
福岡	20	11市・8町・1村	4	20%
北九州	13	4市・9町	1	8%
筑豊	15	5市・9町・1村	7	47%
県南	12	9市・3町	1	8%
福岡県	1		1	100%
計	61		14	23%

3. 行政・金融機関・教育機関の関係づくりと連携を

- (1) 福岡県商工部をはじめ他の行政機関との意見交換会を続けて、お互いの問題や課題を共有し会員企業に関わる関係づくりをしていきます。
- (2) 県内の信用金庫・日本政策金融公庫との業務提携を活かし地域ごとに関係を強化して具体的な取り組み事例をつくります。
- (3) 地域の若者を残すための運動と考えて、教育機関との関係を強化し共育型インターンシップなどの取り組みを広げていきます。

成果

◎ 1回目の商工部との意見交換では中小企業振興に関する政策立案への、新しい課題に対する政策、多面

る予定です。

◎ F.doyuの活用に向け説明会等を予定していましたが、開催できませんでした。

◎ 期末会員数の目標が、ゲスト動員数、知る会の開催数、入会数、退会限度数を検討したうえで目標設定になっていません。

◎ 全体構想、企業づくりの5ステップを用い、同友会の中で経営について語り合い、経営課題を発見し学んでいく仕組みを作っていきます。

2. 次世代を担う役員づくりを

- (1) 役員研修大学を開催し、次世代を担う役員づくりをすすめます。
- (2) 同友会の歴史と理念を学ぶ重要性が会内で共有され、繰り返し学ぶ環境を整え、語り部を育成します。
- (3) 支部長研修を開催し、その責任と役割を明確にします。
- (4) 各組織において先を見据えた組織構想を立て、次の役員候補(経営指針を成文化し成果が出ている会員)を育成します。

成果

◎ 役員研修大学を一泊二日で開催しました。役員としての学びを深め、交流会で更なる深め合いが出来ました。

◎ 支部長研修及び補講を開催し、41名の参加がありました。支部長として知っておくべき事を重点的に学びました。

課題

◎ 役員研修大学の参加者が22名と増えませんでした。宿泊研修の意義を伝えられなかった事が今後の課題となりました。

的なボトムアップの対策や複数年かけての要望など多層的な立案方法があることが確認できました。2回目の部長・課長との懇談会では経営実態調査を通じて共通の課題を共有でき、厳しい経営環境の中でも頑張っている中小企業に対しての支援など施策を考えてほしいと伝えることができました。

◎ 福岡県知事公舎にて服部知事及び商工部に対して同友会会員の企業事例報告と懇談会を開催することができました。

◎ 福岡県信用金庫理事長との懇談会では地銀にない信金さんの良さも知ることができ、同友会会員との関係をもっと強化していくことを確認できました。また、各地区単位で信用金庫との交流が深まってきており、会員増強や会員と信金さんとの取引が増えていくこと、お互いの良い関係を作っていきます。

◎ 北九州地区で197名のインターンシップの受け入れがあり、県南地区でも7名の受け入れを行いました。

◎ 飯塚市・田川市においてキャリア教育の取組が継続して活動できています。

課題

◎ 商工部との懇談会では経営実態調査を通じて中小企業の課題を共有ができて、いかにして次期政策に反映していくかが課題となります。

◎ 北九州地区だけではなく、スタートしている県南をはじめ福岡地区・筑豊地区でもインターンシップ取組が広がっていくことが課題となります。

3. 活動が継続する組織づくりを

- (1) 現新理事研修を開催し、理事としての責任と役割を明確にします。
- (2) 組織を整備し、各組織が連携し機能的に動く体制づくりをします。(自主・民主・連帯の精神で会運営が進められ、企業づくり・地域づくり・同友会づくりを一体と捉えた活動を推進します)
- (3) 活動と成果のあらゆる知識と経験をオープンにして、会員が情報を共有できる体制をつくります。
- (4) 各組織の課題が引き継がれ、活動が継続する仕組みをつくります。
- (5) 運動を推進しビジョンを達成するために必要な予算執行に努めます。
- (6) 災害時に活動が継続できるように事前事後の対応を明確にします。

成果

◎ 現・新理事研修を開催し、34名の参加がありました。理事の責任と役割を深く学びました。

◎ 四半期ごとの会計報告および期中監査が実施され、適正な執行がされています。

◎ 災害時の各組織の対応表を作成し、理事会にて承認しました。

課題

◎ 現新理事研修について、理事の責任、役割に加え、会の規定や予算について学ぶ機会をつくる必要があります。

◎ 災害時対応表は随時更新していく必要があります。

◎ 全体構想をもとに同友会運動における予算の在り方を協議していく必要があります。

4. やりがいや働きがいを感じる事務局づくりを



4. 会員企業の景況調査分析と会内外への発信の強化

- (1) 四半期毎の会員景況調査を実施し、会員の実態を結果レポートにまとめ会内外に広く広報します。
- (2) 景況調査の結果レポートの内容を充実させ、分析結果を企業づくりや地域づくりに活かします。
- (3) 景況調査の回答率を上げて信頼度を高め、会内外への発信力を強化します。

成果

◎ 会員の自社の経営状況を把握できる経営実態調査として名称の変更とリニューアルを行ったと同時に商工部や信用金庫理事長会への報告ができて活用できております。

◎ RE S A S勉強会を実施し、会員企業がデータを活用した経営環境分析を学ぶことが出来ました。

課題

◎ 回答率20%前後なのをいかに30%、目標としては70%に上げられるかが課題です。その為には、いかに会員に分析結果をわかりやすく伝えられるかと共に会員が分析結果を自社経営にどのように活かしていくかが重要となります。

成果

- (1) やりがいや働きがいを感じる事務局づくりをすすめる、キャリアに応じた育成計画を実施します。
 - (2) 会員企業の先進事例に学び、人を生かす経営に基づく、組織的な事務局づくりを推進します。
- ◎ 事務局員の人事評価制度を作成しました。2025年4月から運用を開始します。
- ◎ 事務局員の研修を開催し、ロールモデルとなる先輩局員の話を聞き、仕事のやりがいや自己の今後の成長について見直す機会となりました。
- ◎ 新入事務局員研修を、中同協主催分と福岡局内研修の2種類開催し、役員力の力も借りながら、同友会の魅力をつたえる機会をもつことができました。
- ◎ 北九州地区で開催しているインターンシップに事務局も参加し、働く目的などを各自が見直す機会となりました。
- ◎ 会員訪問や全国行事等への参加を通じて、会員企業の取り組みから多くのことを学びました。

課題

◎ 人事評価制度の来期からの運用にむけて、研修を行う必要があります。

◎ 継続的な研修を開催し、評価制度と合わせて目指す事務局員像を明確にする必要があります。

◎ インタビューシップは継続して取り組み、事前準備をしっかり行うことで事務局員のキャリア教育にいかしていく必要があります。

2025年度 運動方針

時代の転換期、
新たな覚悟で挑戦を！

私たち中小企業は、「中小企業経営の立場からみる情勢の特徴（2025）」で報告された通り厳しい状況にあります。特に人材不足や原材料価格の高騰は今後さらに進むことが予想されます。併せて、今後さらに金利上昇が懸念されるなど、大きな時代の転換期にあります。このような経営環境においても、経営を維持し発展させるためには、改めて自社の存在意義を問い直し、自社の事業領域を再定義して市場創造を行うこと。そして「労使見解をもとにした人間尊重の経営」を実践して人材育成を行い、経営者と社員が「一丸」となつて、新たな覚悟で挑戦することが求められます。

2025年度も、昨年に引き続き4つの重点方針を

かげ運動を推進します。福岡同友会の2030ビジョンの実現をめざし、経営指針書の作成と実践を推進し、どんな環境でも「真の黒字経営」ができる企業づくりを進めます。また各地域で企業づくりと地域づくりを同時に進めていくことが求められ、そのためにも同友会づくりは欠かす事ができません。4つの重点方針とともに、「何のための同友会か」を基にした活動と組織の全体構想の協議を継続して進めます。経営者フォーラムについては全県で取り組む行事として今年も開催します。企業づくり、地域づくり、同友会づくりを連携して取り組み、企業での「新たな挑戦」を推進し、福岡同友会2030ビジョン実現にむけ活動します。

重点方針

- 1 労使見解に基づいた、経営指針の作成・見直しと実践を（2030ビジョン企業づくり1-1 1-2）
- 2 いかなる環境においても、「真の黒字経営」を（2030ビジョン企業づくり1-3 1-4 1-5）
- 3 地域を支える中小企業が、地域のインフラとなりえる活動を（2030ビジョン地域づくり2-1 2-6）
- 4 仲間を増やし、強い組織づくりを（2030ビジョン同友会づくり3-2 3-6）

企業づくり

同友会の理念を自社の経営に取り入れ、同友会とともに成長・発展する企業づくりをめざします。「同友会に参加して、自分自身が成長し、企業も発展した」と実感を持って語れる会員を増やしていきます。また、経営指針書の作成と実践を通じて、採用・人材育成・仕事づくりに取り組む企業は、どのような経営環境でも安定して黒字経営を続けています。資材高騰や人材不足、事業承継といった経営課題に対しても、同友会のネットワークや学びの場を活かし、会員企業同士が経営課題を共有しながら、解決策を見出していくことが重要です。今

こそ、同友会らしい企業づくりを推進し、より多くの企業が持続的な黒字経営を実現できるよう、取り組みを進めていきます。

1. 経営指針書の成文化と実践を

- (1) 支部委員会・地区会で目標をきっかけ、労使見解に基づく経営指針書の成文化を推進します。全県で成文化率60%をめざします。
- (2) 経営指針の全社的な実践を推進します。その第一歩は社員を巻き込みPDCAを回すことです。またその実践状況を支部・委員会・地区会で交流し全県で実践率40%をめざします。
- (3) 成文化率と実践率の声掛けを引き続き

行い、全県で声掛け率50%をめざします。企業変革支援プログラムの活用により自社の現状を把握し、企業変革を推進します。e・d・youの登録者を30社から250社をめざします。

2 「真の黒字経営」への実践を

- (1) 赤字会社は黒字会社へ。赤字の原因を捉え営業戦略や損益計画等を見直し、継続して利益を出せる会社に変革します。委員会を積極的に活用し、例会・ブロック会で学びあいます。
- (2) 黒字会社は強い会社へ。社員共育や業務効率化等を進め、全社一丸で収益力を向上させます。人や新商品開発などに

投資をしながら黒字を出し続けられる強い会社をめざします。

- (3) 物価高が進み社員達の生活を圧迫しています。自社の実力や計画の達成状況を見極めつつ、ベースアップなど社員の所得向上に取り組めます。

3. 新たな視野で未来につなぐ仕事づくりを

- (1) 会員同士の経営体験の交流や本音の経営談義により、自社の経営課題や地域課題を発見し、事業領域の見直し、新商品や新サービスの取り組みを推進します。
- (2) 会員企業の知識や技術、資源を組み合わせて連携し合うことで、新しいビジネ

スのチャンスを生み出します。

- (3) 専門委員会を活用し、企業の課題解決を図ります。また委員会に関わる会員を増やし、会員の新しい挑戦を後押しします。

地域づくり

地域づくりとは「安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築するため、中小企業と住民が主体となって地域課題を解決していく活動や取り組み」のことをいいます。その地域課題を会社の課題として変えて、中小企業憲章・中小企業振興条例を広めていきます。また、行政や金融機関そして教育機関との連携を深めて、中小企業が元気で、地域が元気になることが、地域に若者が残ることと考え、同友会運動として取り組んでいきます。

1. 中小企業憲章の精神を広める運動を

- (1) 中小企業魅力発信月間大勉強会を開催し会員には憲章の意義を発信し他団体には中小企業の魅力を伝えます。
- (2) 行政・金融機関・教育機関などに広く呼びかけ、憲章の精神を広める運動を推進します。
- (3) 中小企業憲章を会内で、また社員と共に学ぶなど憲章の精神を深める運動を行います。

2 中小企業振興基本条例の制定と活用で、具体的な成果事例を全県に

- (1) 中小企業振興基本条例の制定と活用を推進して元気な地域づくりの運動を進めます。
- (2) 中小企業振興基本条例が制定されている地域は、活用した取り組みを進め、具体的な成果をめざします。
- (3) 中小企業振興基本条例が制定されてい

ない地域については、「調査・条例・振興会議」体の取り組みなど先進事例に学び、現在、制定に向けて進んでいる那珂川市や他の自治体に関しても積極的に取り組めます。

（福岡県61自治体のうち条例制定されて

いるのは福岡県・福岡市・北九州市・飯塚市・田川市・直方市・福津市・宮若市・嘉麻市・糸島市・宇美町・鞍手町・川崎町・広川町の14自治体です）

3. 行政・金融機関・教育機関の関係をづくりと連携を

- (1) 福岡県商工部をはじめ他の行政機関との意見交換を続けて、お互いの問題や課題を共有して会員企業に関わる関係づくりをしていきます。
- (2) 県内の信用金庫とは理事長懇談会を開催し地域ごとに関係を深めていきます。また、日本政策金融公庫との業務提携を活かし具体的な取り組み事例をつくります。
- (3) 地域の若者を育む教育と考えて、教育機関との連携を進め、特に各地区・支部活動で取り組んでいる共育型インターンシップについては、各事例の到達点や課題を会議等で共有して推進役として進めていきます。

4. 会員企業の経営実態調査と会内外への発信の強化

- (1) 四半期毎の経営実態調査を実施し、分析し、会員の実態を結果レポートにまとめ会内外に広報します。
- (2) 経営実態調査の結果レポートの内容を充実させ、分析結果を企業づくり・地域づくり・同友会づくりに活かします。
- (3) 経営実態調査の目的とその意義を会内に広く伝え、回答率目標を70%とし、会内外への発信力を強化します。

同友会づくり

同友会づくりを進めるうえで、まずは増強です。福岡県として、増強目標を達成すべく増強部を同友会づくり推進本部から外し、1つの組織として独立します。また同友会を深く知ることが大事です。各組織で同友会の歴史と理念を学び、理解を深める必要があります。その上で会員企業が成長する学びの体系づくりや、次世代を担う役員づくりを進める事が福岡同友会を強くします。その基本を進めながら、活発な経営談義とそれを裏付ける会員間の連帯、また他団体（金融機関等）との連携も含めて進めることが大切です。

1. 楽しく学べる増える組織
2025年度目標 2,500名

- (1) 新会員フォローアップセミナーを開催し、同友会運動への積極的な参加を促します。

- (2) 地区会や支部と連携し、知る会を開催し、入会促進を進めます。
- (3) 支部の例会活性化と各支部のブロック会活性化に取り組み、減らさない組織づくりを進めます。

- (4) 支部活動で自社の課題を発見し、支部から各委員会への参加に繋がります。入会したら学んで実践できる学びの体系を作ります。
- (5) 情報発信力を強化し、会員外の経営者と行政、金融、教育機関などに会の運動を戦略的に発信することで福岡同友会の運動の周知と入会促進につなげます。

2 次世代を担う役員づくりを

- (1) 役員研修大学を開催し、次世代を担う役員づくりをすすめます。
- (2) 同友会の歴史と理念を学ぶ重要性が会内で共有され、繰り返し学ぶ環境を整え、

語り部を育成します。

- (3) 支部長研修を開催し、その責任と役割を明確にします。
- (4) 現新理事研修を開催し、理事としての責任と役割を明確にします。

- (5) 各組織において先を見据えた組織構想を立て、次の役員候補（経営指針を成文化し成果が出ている会員）を育成します。

3. 活動が継続する組織づくりを

- (1) 組織を整備し、各組織が連携し機能的に動く体制づくりをします。
- (2) 組織の課題が引き継がれ、活動が継続する仕組みをつくります。

- (3) 理念にもとづき、常に健全な財政の維持と強化に努め、同友会の発展のために執行していきます。
- (4) 不測の事態でも会活動が停滞しないよう事業継続力の強化を継続して行います。

4. やりがいや働きがいを感じる事務局づくりを

- (1) 事務局員の人事評価制度の活用などを通じて、めざす事務局員像を明確にします。
- (2) 事務局研修やインタビューシップ受け入れ、全国行事への参加等を通じて、事務局員のキャリア教育を実施します。
- (3) 会員訪問や経営実態調査等を通じて、会員の実態や要望を把握し、会員の課題解決へ向けた取り組みを行います。



代表理事 貞兼 朋記(南支部)

として議論し、活動や組織の見直しを進めます。

また、地域づくりにおいては、中小企業振興基本条例制定が、福岡県61自治体のうち現在14自治体と23%です。全国の平均並みの40%に近づけるべく活動を進めます。さらに行政・金融機関・教育機関との懇談会などを通じて連携を深め、さまざまな取り組みを進めてまいります。

最後に、これらすべての原動力となるのが同友会づくりです。今期の増強目標は2,500名です。これまでの純増の実績は1年間で50名前後が平均です。2024年度末が2,400名ですから、今期は約100名の純増が必要になります。ここ数年の増強部の取り組みにより、増強に対する理解や知会の実践が広がりました。さらに増強活動を県内隔々にまで浸透させ、丁寧なフォローしながら、今期末2,500名の会勢を全会員でめざしましょう。

2025年度 役員名簿

(敬称略)

【理事】			支 部	氏 名	事業所名	役 職	
代表理事			福博	高谷 幸一	(株)ユニティ	代表取締役	
		新任	南	貞兼 朋記	(株)ルックルック	代表取締役	
副代表理事			東	井上 明	富士食品(株)	代表取締役社長	
			南	北原 正	社会保険労務士法人 COMMITMENT	代表社員	
			飯塚	重松 和孝	(有)コンサルティングオフィス	代表取締役社長	
		新任	北九州	松木 祥也	(株)松木工務店	代表取締役社長	
		新任	福友愛	入江 恵美	(株)オー・エー企画	代表取締役専務	
		新任	南	栗山 浩	(株)アーキテックス	代表取締役	
		新任	りょうちく	植原 憲一	(株)カラーリングファーム	代表取締役	
専務理事			事務局	川畑 義行	(一社)福岡県中小企業家同友会	専務理事	
地区会長	福岡	新任	福友和	森 慎吾	(株)アール・ツーエス	代表取締役	
	北九州	新任	ひびき	小林 正広	(株)上津役製作所	代表取締役	
	筑豊		のおがた	小屋根雄作	(有)丸憲製作所	代表取締役	
	県南	新任	大牟田	久保田 洋	(有)ユー自動車	代表取締役	
相 談 役			新任	飯塚	鶴田 和壽	コースイ(株)	取締役会長
			新任	ひびき	市丸 浩	(株)ファイン	代表取締役
役員選考委員長		新任	飯塚	鶴田 和壽	コースイ(株)	取締役会長	
支 部 長	東支部		東	木下 まき	(株)マーキュリー	代表取締役	
	福博支部	新任	福博	西田 英司	(株)カルベ・ディエム	代表取締役	
	博多支部	新任	博多	木本 修司	(有)木本設備工業	代表取締役	
	中央支部	新任	中央	足立 知弘	いちご会計事務所	所長	
	西支部		西	姫島 陽介	(株)アスコム	代表取締役	
	南支部	新任	南	阿部 弘美	(株)ChouChou	取締役	
	筑紫支部	新任	筑紫	満永 貴久	(株)吉丁	後継者	
	福友愛支部		福友愛	廣田 明彦	(株)エフタイムズ	代表取締役	
	福友和支部		福友和	高尾 英正	(株)ライズ	代表取締役	
	青年支部	新任	青年	桑野 洋一	(有)プレス インシュランス ビューロー	代表取締役	
	玄海支部	新任	玄海	長澤 幸成	(株)マツダオートザム福岡東	代表取締役社長	
	かすや支部		かすや	今林 和文	(有)和白電業	代表取締役社長	
	糸島支部		糸島	白石 雄士	(株)博多印刷	代表取締役	
	北九州支部	新任	北九州	古賀 亨	(株)ベルサービス	代表取締役	
	ひびき支部	新任	ひびき	伊藤 孝司	(有)ヘルパーステーションひまわり	代表取締役	
	のおがた支部	新任	のおがた	須藤 司	農業人	代表者	
	飯塚支部		飯塚	中村 大吉	(株)なかむら	代表取締役社長	
	田川支部	新任	田川	奥永 尊仁	土地家屋調査士奥永事務所	所長	
	久留米支部	新任	久留米	浅野 明裕	(有)アサノ自動車	専務取締役	
	大牟田支部	新任	大牟田	岡村 孝司	(有)岡村商店	代表取締役	
	有明支部		有明	濱田 満広	(株)濱田設備	代表取締役	
	りょうちく支部	新任	りょうちく	大坪 政樹	(有)大坪物産	代表取締役	
事務局長			事務局	坂田いずみ	(一社)福岡県中小企業家同友会	事務局長	
【監事】			東	光本智恵子	(株)すこやか工房	代表取締役	
			南	大串 和義	大串公認会計士・税理士事務所	代表者	
		新任	福友愛	山田 秀樹	日本ビルケア(株)	代表取締役	



代表理事の抱負

2025年度のスローガンは「時代の転換期、新たな覚悟で挑戦を！」です。この言葉には、変化を恐れずに仲間とともに知恵を出し合い、未来に向かって挑戦していこう、という思いが込められています。今まさに時代は大きな転換期にあります。多くの分野で新しい価値や仕組みが次々と誕生しています。さらに昨今の人材不足や原材料価格の高騰に加え、トランプ関税が4月初めに発表され、中小企業をめぐる情勢は不透明感が増しています。

このような状況を根本的に解決するためには、人を生かす経営を徹底的に実践して、付加価値を高め「強靱な経営体質の会社」、そして「選ばれる会社」と変革を続けていくことが何より大切です。その基本となるのが、2030ビジョンの企業づくり1ー1で掲げている「全会員が経営指針を社員とともに作成し、全社的に実践している」です。この実現のためにも、今期方針の重点項目1「労使見解に基づいた、経営指針の作成・見直しと実践を」全県で取り組む必要があります。

2025年度は昨年に引き続き成文化率や実践率を集計し声掛け活動を推進します。今期目標は声掛け率50%(前期末42%)、成文化率60%(前期末53%)、実践率40%(前期末34%)です。そして、声掛け活動をきっかけに支部やブロック内で会員同士の本音の経営談義を活発に行いましょう。その中で会員同士がお互いの経営課題を共有し、お互いに刺激しあいながら共に成長しあう風

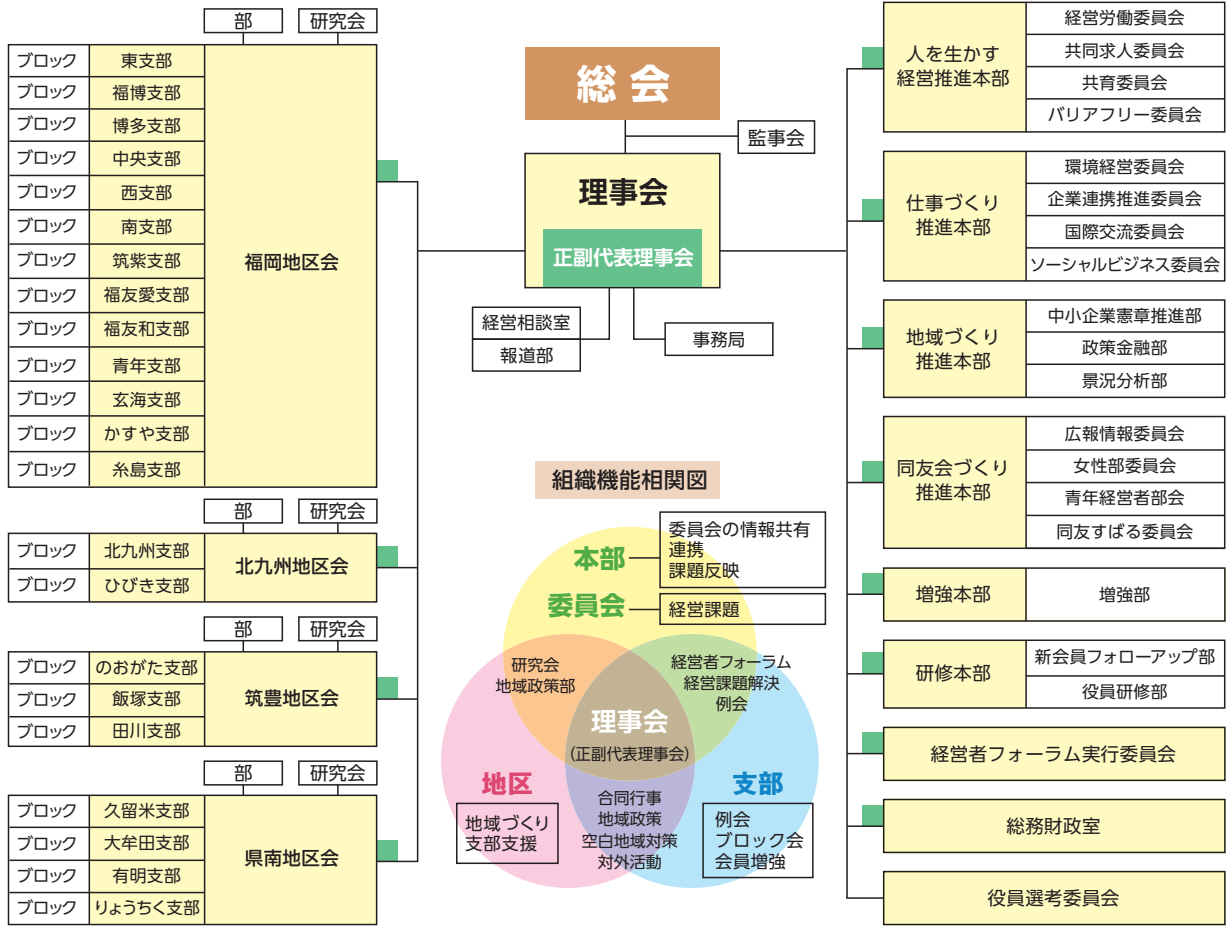


代表理事 高谷 幸一(福博支部)

土をすべての支部で作っていきたくと考えています。さらに自社の「人を生かす経営」の成熟度を自己診断できるのが企業変革支援プログラムVer.2です。今期のプログラム登録数の目標は250社(前期末30社)です。

また、県全体を見渡したときの課題として、委員会活動が支部会員まで伝わって、委員会活動への参加者が減っています。支部で自社の課題を発見し深掘りし、委員会で解決することが基本ですが、今一度このことを全県で共有します。そして理事会の中でも議論して対策してまいります。

同友会の学びの原点は「労使見解をもとにした人間尊重の経営」です。つまり「人を生かす経営」を実践して「21世紀型中小企業」をめざすことが何より大切です。そのためには福岡同友会としてどんな活動が必要なのか、そしてその活動を行うためにはどんな組織が必要なのかを、理事会を中心に「全体構想」





2025年度 第1回

理事会だより

開催日時

2025年5月28日(水) 14時30分～17時43分

会場

福岡県中小企業振興センター 202会議室

出席数

35名(出席率89.7%)

議長

北原 正

- 会員増強について

入会20名、退会21名(うち会費未納による退会2名)が承認された。また移籍2名が確認された。5月承認会員数は2,378名となった。
- 「全体構想」に向けた協議

これまでの議論の経過を確認し、今後も全体構想の協議を進めることを確認した。
今後の進め方について下記の通り提案・確認された。
・これまでの協議の到達点をふまえ、福岡同友会の企業づくりの旗印「一流の中小企業」にむけて5ステップのそれぞれの定義や活動指標、チェックリストなどを確認しイメージ図を作り共有する。
・このイメージをもとに、正副および理事会で活動の見直しや再定義を行う。
・さらに地区や支部、本部・委員会でも協議し全体としてまとめる。
・活動を明確にしたのち、担当し推進する組織について検討する。
・併せて、財政や事務局についても検討する。
- 2025年度総会について

参加結果、当日進行等について振り返りを行った。議案に対する意見は総会の中でも回答をしたが、理事会で議論して回答をすることとなっている。次回以降の理事会で協議し文書にして会員に発信することを確認した。
- 経営指針作成と実践数値把握

今年度も引き続き会員への声掛けとコミュニケーションを重ねながら、成文化と実践に関するアンケートを継続的に実施することを確認した。成文化は理念、ビジョン、方針、計画(ワンシート可)が揃っていること、成文化率と実践率は声掛け数と会勢にて把握すること、2025年4月末時点の数字を継続していくことを確認した。今年度は声掛け率50%、成文化率60%、実践率40%を目指している。数値の達成が目的ではなく支部内で経営談義をすることが目的であり、それができると真の活性化に繋がる。各支部で積極的な声掛けをすることが呼びかけられた。
- 地域づくり推進本部より

①第3回経営実態調査報告(2025年1～3月期)プレスリリース
②第4回経営実態調査(2025年4～6月期)特別調査の実施
③参院選への公開質問状の送付が承認された。
- 増強本部より

①2025年度会員数2,500名達成に向けた支部活動の方向性についてグループ討論を行った。
②同友会を知る会の要件緩和について
例会開催前後の30分を利用した「プチ知る会」を知る会開催費負担申請要領に追記することが承認された。
- 会員企業の動き

■経営革新計画承認企業
○2025年3月(県20件／うち同友会会員企業2件)
※累計で福岡県全体では9,936件、会員企業は延べ581件です。
・株式会社 江越 雄大さん(西支部所属)
<テーマ> 練り物の魅力を伝える体験教室とレンタルキッチン
・経営デザインコンサルティング 富永 一也さん(博多支部所属)
<テーマ> 子どものIT格差と社会的弱者の支援を同時に解決する格安中古パソコン販売事業で利益拡大
■表彰など
○同友エコ2024～2025受賞企業決定
奨励賞(57社) 株式会社 白石 雄士さん(糸島支部)・伊藤 健さん(福友和支部)・田口 堅一さん(かすや支部)
○2025春の褒章受章
監製褒章 鳥越 一郎さん 株式会社 鳥越建設(久留米支部所属) <久留米市消防副団長>

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

永年会員表彰

(敬称略)

会歴40年に達した会員(4名)

坂本文比古	坂本歯科医院	西
藤原 康弘	(株)ダイナインタラクティブ	中央

会歴30年に達した会員(18名)

藤吉紀良美	(株)アイ企画	福博
樋口 康治	(株)アイル	筑紫
松村 茂和	(有)カーリスター	のおがた
林田 俊一	アストル(税)	飯塚
平山 隆之	(有)ヤマヤ販売	北九州
中村 伸子	あおぞら法律事務所	博多
古賀 亮徳	(株)プロインテック	玄海
吉村 俊雄	(株)環境保全管理センター	福博
安松 達郎	(株)やすや	東

会歴20年に達した会員(43名)

貞兼 朋記	(株)ルックルック	南
重松 和孝	(有)コンサルティングオフィス	飯塚
中島 洋史	(株)アドアルファ	南
坂口 宗則	(株)坂口建設産業	大牟田
小嶋 好典	K・プラン	玄海
片野坂つぐみ	(有)デザインオフィススラッシュ	福友愛
尾方 宏行	(司)ライブ事務所	福友和
前間 彰太	(株)こちら総務部	久留米
宮崎 弥生	(株)ウィズアルファ	福友和
原田 秀樹	(株)TG総研	福友和
縄田 剛之	(有)コア	北九州
久保田 洋	(有)ユー自動車	大牟田
家成 祐華	(有)あすなる開発	北九州
高田 弘	高田シール	博多
岩本 太郎	(株)エフ・ティ・シー通信	東
三苫 和義	エナジモータースポーツ	飯塚
日吉奈穂子	(有)包装の江島屋	飯塚
坂本 敏弘	計測検査(株)	北九州
西村 智	(株)ブレーンコスモス	中央
足立 知弘	いちご会計事務所	中央
百田 輝子	モモテクネット(株)(Lumina PC カレッジ)	かすや
隈 啓介	充寛労務管理事務所	久留米

北原 昭	(株)ヤマプラス福岡	西
江田 博	江田労務経営事務所	筑紫

竹野 孔	(株)タケノ	東
長澤 幸成	(株)マツダオートザム福岡東	玄海
石原 利朗	(株)ジー・ビー・イー	博多
原田 秋彦	原田秋彦税理士事務所	西
渡辺 誠治	フローリストわたなべ(有)花樹園	東
倉本 明彦	(株)システム企画	南
小島 隆志	(税)小田・小島総合会計	福友愛
今村 成剛	(株)今村組	大牟田
黒木 文康	黒木文康司法書士事務所	筑紫

北原 正	社会保険労務士法人 COMMITMENT	南
岡本菊太郎	(株)泰山	福友愛
松木 祥也	(株)松木工務店	北九州
大塚けんじ	千建築設計	福友和
山口雄一朗	(有)プラス1・コミュニケーションズ	東
中村 クミ	(株)山田屋	福友愛
八尋 大八	(株)ヤヒロ	中央
佐藤 維亮	(株)ジャパンイズム	中央
山川 高浩	(有)幸桜(博多引越本舗)	かすや
小野賢太郎	(株)東洋硬化	久留米
重信 好文	(株)ソーラー・エコ	のおがた
八木なほ子	(株)ハウジング西日本	久留米
宮野 甲介	(有)宮野建装	ひびき
宮本 成樹	(有)サークル・アイ	北九州
林田 選	(株)彩ーいろどりー	東
川俣 保美	(株)ネオビス	ひびき
福田憲太郎	福田土地家屋調査士事務所	玄海
玉置 一貴	(株)玉置	飯塚
石山 俊昭	(株)KRC	博多
永松 拓睦	(株)香椎造園	東
小嶺 豪士	(株)ロイ設計	中央

増強表彰

(敬称略)

支部表彰(会員増強最高の支部)

入会数(支部で紹介いただいた新会員数)	福友愛支部	52名
入会率(入会数を期首会員数で割った数)	福友愛支部	18.1%
純増数(支部で期首より増えた会員数)	南支部	20名
純増率(純増数を期首会員数で割った数)	南支部	10.5%

個人表彰 2名(年間5名以上の新会員の入会推薦をした会員の皆様)

氏名	事業所名	所属支部	推薦数
高尾 英正	(株)ライズ	福友和	6名
川原 史郎	メディカルケア(同)	博多	5名

5 土 14:00~17:00

同友すばる委員会

2025年度事業承継塾第2講 事業承継の税制

- 電気ビル本館地下2階 7号会議室
福岡市中央区渡辺通2-1-82 ☎0120-222-084
- 辻本 聡氏 アップスマイル税理士法人 代表者（福友愛支部）

11 金 18:30~21:00

(会員増強部)
知る会研修会

知る会研修会

仲間づくりの意義を知って、楽しい仲間づくり活動进行しよう!

- WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)

15 火 18:00~20:05

博多支部
7月例会

最大の資源はヒトである

更生支援を通じた『人を育てる』経営哲学

- THE BASICS FUKUOKA 福岡市博多区博多駅東2-14-1 ☎092-412-1234
- 副島 勲氏 一般社団法人ヒューマンハーバー さんとく塾 代表理事（南支部）

15 火 18:20~21:00

福友和支部
7月例会社員の意見を活かして伝統製品を最先端へ
～社員とともに拓く百年企業の新たな未来～

- アクア博多 A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 吉開 ひとみ氏 宮田織物株式会社 代表取締役（福友和支部）

15 火 18:30~21:00

玄海支部
7月例会

選べない会社になっていませんか?

企業ブランディングとSNSで差がつく時代

- 天神ビル11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 三村 和也氏 株式会社ATELIER-Q 執行役員（玄海支部）
- 古澤 和朗氏 株式会社PEACE 代表取締役（玄海支部）

15 火 18:30~21:00

北九州支部
7月例会

理念から始まる会社改革 人材・組織・経営すべてが変わる

- コムシティ大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 大野 仁氏 株式会社大野 代表取締役（ひびき支部）

16 水 18:00~21:00

東支部
7月例会

従業員ファースト経営が企業の未来を変える!

～やる気を引き出す職場づくり、社員がイキイキ働く組織づくりの秘訣～

- ホテルクリオコート博多 福岡市博多区博多駅中央街5-3 ☎092-472-1111
- 近藤 盛弘氏 株式会社藤電気工事 代表取締役（東支部）

16 水 18:30~20:30

西支部
7月例会

同友会西支部を知る会

～同友会を活用し、経営課題を解決しよう～

- アクア博多 A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
- 古屋 勇一氏 古屋法律事務所 弁護士（西支部）
- 柿本 雄輝氏 合同会社クリーン・ファシリティ 代表者（西支部）

17 木 18:00~20:30

福博支部
7月例会

人を生かす経営とはなにか?、経営者としての考え、行動について(仮)

- 天神チクモクビル 大ホール 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
- 宮崎 栄二氏 株式会社R101 代表取締役（福博支部）

17 木 18:20~20:50

筑紫支部
7月例会

THEひみつの経営討論会 ～「知りたい!」をみんなで深堀する夜～

- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
- 山田 福士氏 合同会社エニクック 代表社員（筑紫支部）
- 塘之口 守氏 株式会社駿河コーポレーション 代表取締役（筑紫支部）
- 黒岩 幸子氏 創伸テクニカルサービス株式会社 代表取締役社長（筑紫支部）
- 西島 六氣氏 株式会社九食 取締役（筑紫支部）
- 外園 由佳氏 外園税理士事務所 後継者（筑紫支部）

17 木 18:20~20:45

中央支部
7月例会

『人として、経営者として、目覚める瞬間!!』

- アクア博多 B会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 持田 仁子氏 司法書士・行政書士いとボナール事務所 司法書士（中央支部）

17 木 18:30~21:00

福友愛支部
7月例会

社員とのすれ違いを乗り越えて ～ワンチームになるための歩み～

- アクア博多 A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
- 吉田 俊郎氏 社会保険労務士法人 T2パートナーズ 代表社員（福友愛支部）

17 木 18:30~21:00

糸島支部
7月例会

同友会の活かし方

- 波多江コミュニティーセンターはたえ館 糸島市池田216-1 ☎092-322-1614
- 小津 智一氏 株式会社OZ Company 代表取締役（糸島支部）
- 平川 祐二氏 有限会社日高ボーリング工業 代表取締役（糸島支部）
- 河津 健一郎氏 株式会社ラ・メルシーズカンパニー 取締役（糸島支部）

17 木 18:30~21:00

ひびき支部
7月例会

懇親納涼例会

- ザ・ハウス・オブ・リンドマール
北九州市八幡西区東神原町2-23 ☎093-642-3659

17 木 18:30~21:00

のおがた支部
7月例会

新時代に生き残る為に

私たちの会社はこれから5年10年を生き残る為に何をしますか?

- ユメニティのおがた 直方市山部364-4 ☎0949-25-1007
- 吉行 剛氏 株式会社Buddy 代表取締役（福友和支部）

17 木 18:30~20:00

りょうちく支部
7月例会

仲間の実践から学ぶ!

～支部会員によるリアルな現状報告と、共に考える未来～

- 田中 大輔氏 百笑倶楽部 代表者（りょうちく支部）
- 梶原 彰人氏 西邦化学産業株式会社 取締役副社長（りょうちく支部）
- 秋吉 丈士氏 有限会社秋吉野菜園 代表取締役（りょうちく支部）
- 正井 義人氏 株式会社ソトヘ 代表取締役（りょうちく支部）

18 金 18:30~21:00

田川支部
7月例会

同友会を知る会

- 福岡県立大学 大セミナー室 田川市伊田4395 ☎0947-42-2118

18 金 18:30~20:30

久留米支部
7月例会

経営指針発表会

- ハynesホテル久留米 久留米市天神町1-6 ☎0942-32-7211
- 久保 弘之氏 株式会社ほう・れん・そう 後継者（久留米支部）
- 久保 亜希子氏 川島運送株式会社 代表取締役（久留米支部）

18 金 18:20~20:30

企業連携推進委員会
FAST7月例会

シンデレラ戦略セミナー 商品戦略

- 福岡同友会事務局全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-11F ☎092-686-1234
- 深見 信吾氏 深見経営株式会社 代表取締役（東支部）

22 火 18:30~20:50

南支部
7月例会

不離一体の経営 同友会の学びと巻き込む力

- アクア博多 A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 福田 裕聡氏 株式会社スミリオン 代表取締役（南支部）

22 火 18:30~21:00

飯塚支部
7月例会

やってみたらこうなった! 同友会活動のリアルな実践報告

- パドゥ・ル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
- 上原 晃一氏 株式会社ユナイテッドファム 代表取締役（田川支部）

24 木 11:00~14:00

かすや支部
7月例会

ゼロからはじめる地域貢献

～仕事・家庭・町議、情熱を燃やし続ける秘訣～

- しめ寿し 糟屋郡志免町志免2-13-3 ☎092-935-6688
- 百田 輝子氏 モモテクネット株式会社(Lumina PC カレッジ)
代表取締役（かすや支部）

新会員フォローアップセミナー

24 木 18:00~21:00

- 福岡県中小企業振興センター 303会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-3F ☎092-686-1234

25 金 19:00~21:00

青年支部
7月例会

同友会・青年支部を知る会

～福岡県中小企業家同友会と青年支部を知ろう～

- Dress WEDDING AND PARTY
福岡市中央区西中洲11-21 ☎092-733-1310
- 桑野 洋一氏 有限会社プレス インシュランス ビューロー 代表取締役（青年支部）
- 安部 拓二氏 税理士法人九州パートナーズ 代表社員（福博支部）

(地域づくり推進本部)
中小企業魅力発信月間大勉強会

地方創生の時代に条例を生かす

～あなたは地域の課題にどう応えていきますか?

田川市の事例から学ぶ～

25 金 13:30~17:00

- 福岡県中小企業振興センター 401会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-4F ☎092-622-6230
- 植田 浩史氏 慶應義塾大学経済学部 教授
- 荒川 雅光氏 有限会社英設備工業 代表取締役（田川支部）

26 土 14:50~18:50

大牟田支部
7月例会

おおむた「大蛇山」まつり

- トマトビル 大牟田市大正町2-8-1

26 土 9:15~17:45

経営労働委員会

経営指針作成あすなろ塾

- 九州ビル 8B会議室
福岡市博多区博多駅南1-8-31-8F ☎092-461-1112

28 月 18:30~20:30

有明支部
7月例会

『新時代の付加価値創造』

どうする!? 時給1,500円時代がやってくる!

- 白柳荘 柳川市新町16 ☎0944-73-1188
- 山口 恵子氏 株式会社ファインドカラー・エクス 代表取締役（中央支部）
- 小野 新一氏 有限会社カネガエ防災設備 代表取締役

28 月 16:00~18:00

共育委員会

社会人例会

- 福岡県中小企業振興センター 301会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-3F ☎092-622-0011

30 水 15:00~17:15

バリアフリー委員会

特別支援学校との意見交換会

- 福岡県中小企業振興センター 301A会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-3F ☎092-622-6230

30 水 18:30~21:00

(会員増強部)
日本政策金融公庫を知る会

日本政策金融公庫を知る会

日本政策金融公庫と同友会の活かし方

- 福岡県中小企業振興センター 202会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-2F ☎092-622-0011
- 池田 和夫氏 LifeEF 代表者（南支部）
- 平原 裕介氏 日本政策金融公庫 福岡支店 国民生活事業 融資第二課長
- 新村 哲朗氏 日本政策金融公庫 福岡支店 中小企業事業 副事業統轄
- 高原 良寛氏 日本政策金融公庫 福岡支店 農林水産事業 融資第一課長



月刊

同友

7
月号
2025

vol.708

会員 Pick up!

第63回 定時総会 フォトレポート



表彰のようす



20年表彰



30年表彰



増強表彰



退任理事



新任理事



2025年度 支部長



交流会のようす



あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

みなさんの投稿をお待ちしています。

投稿方法

郵送、メールいずれも可。
表題に「月刊同友 会員からの投稿」と
ご記載ください。

テーマ

環境問題や、社会貢献、
例会の様子、地域イベントなど、
内容は自由です。

送付先

郵送/下記「月刊同友」編集部まで
メール/h_nagao@fukuoka.doyu.jp
(福岡同友会事務局 長尾まで)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

〔北九州地区センター〕

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

〔県南地区センター〕

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



[デザインQR]

今月の『月刊同友』はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。
よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切 7月31日(木)

環境を守るため森林認証紙を使用しています。